

日本都市学会第 64 回大会のお知らせ

1. 開催概要

開催日：2017 年 10 月 27 日（金）・28 日（土）・29 日（日）

開催地：宮城県石巻市

主 催：日本都市学会・東北都市学会 後 援：石巻市・石巻専修大学

会 場：石巻魚市場

2. 大会テーマ 「都市の復興モデルを探る」

3. スケジュール

【10 月 27 日（金）】

14：00～ エクスカーション 「AR 技術を用いて被災地を知る」

石巻市では、全国でもめずしい AR (Augmented Reality：拡張現実) 技術を用いた防災教育の取り組みが行われている。これは、独自に開発されたアプリをインストールしたスマートフォンやタブレット端末の画面をとおして、石巻市の現在の景色の上に、震災直後の景色を重ねることが出来るというものである。自分がいる場所の津波の高さを視覚的に見ることも出来る。エクスカーションでは、このアプリを開発した「みらいサポート石巻」と、深刻な津波被害を受けた旧雄勝町地域でアプリを活用した活動を行っている「雄勝花物語」の両団体の案内のもと、アプリを活用しながら被災地の「いま」と「あの時」を往来する。

- ※ アプリは各自でインストールしてきて下さい。スマートフォンやタブレットがなくてもご参加いただけますが、お持ちでない場合はアプリの機能はご利用いただけません。
- ※ 各コース定員 20 名。定員を超えた場合は申込順とします。
- ※ 参加費は参加人数によって変更になる場合があるので、後日送付するプログラムでご確認下さい。

□グループ 1（街中通常コース）※徒歩で移動します

予 定 時 間：2 時間程度

おもな見学先：石巻市中心市街

集 合 場 所：震災伝承スペース「つなぐ館」

(http://ishinomaki-support.com/spot/learning_space)

- 参加費 1500 円を申し受けます（参加費は予定、資料代含む）

□グループ 2（街中健脚コース）※徒歩で移動します

予 定 時 間：2 時間半程度

おもな見学先：通常コースのあと日和山まで足をのばします

集 合 場 所：震災伝承スペース「つなぐ館」

(http://ishinomaki-support.com/spot/learning_space)

- 参加費 1500 円を申し受けます（参加費は予定、資料代含む）

□グループ 3（旧雄勝町）※マイクロバスと徒歩で移動します

予 定 時 間：3 時間半程度（移動時間 1 時間半）

おもな見学先：旧雄勝町地域

集 合 場 所：石巻駅駅舎出口付近

- 参加費 2500 円を申し受けます（参加費は予定、バス利用代・資料代含む）

18：00～ 理事会

※ 会場：石巻グランドホテル 2F 鳳凰

【10月28日（土）】会場：石巻魚市場

5：00～ 魚市場見学（職員の案内があります）

9：00～ 研究発表Ⅰ

13：00～ シンポジウムテーマ 「石巻市の復興 ―7年目の検証―」

13：00 開会挨拶 日本都市学会会長

13：10 基調講演 石巻市長 亀山 紘 氏

13：50 パネルディスカッション

パネリスト：石巻市長

亀山 紘 氏

石巻魚市場株式会社

須能 邦雄 氏

株式会社三陸河北新報社

古関 良行 氏

一般社団法人 ISHINOMAKI 2.0

松村 豪太 氏

石巻専修大学

佐々木 万亀夫 氏

コーディネーター：東北都市学会会長

16：45～ 日本都市学会賞授賞式

17：15～ 日本都市学会総会

18：00～ 懇親会（会場：石巻魚市場）

※ 懇親会は総会と同じ会場になりますので、総会が終了したあと速やかに開始します。

【10月29日（日）】会場：石巻魚市場

9：00～ 研究発表Ⅱ

4. 研究発表の募集

(1) 申込資格

発発表申込者は会員（入会手続き中のものを含む）に限ります。共同発表の場合、共同発表者全員の氏名を明記するとともに、口頭発表者（1名のみ）に○印（朱書き）をつけてください。口頭発表は一人一回限りとします。なお、発表申込後の共同発表者の変更は認められません。また、共同発表者の中に非会員が含まれていても構いませんが、『日本都市学会年報』に投稿される際には、著者全員が会員である必要があります。

(2) 申込方法

研究発表を申し込まれる方は、同封のハガキ、またはハガキと同じ内容を記した電子メールで、下記「大会に関する問い合わせ先」に申し込んで下さい。ハガキ内の「大会テーマ分科会」とは大会テーマに関連を持つ発表を集めた分科会、「自由テーマ分科会」とはそれ以外の分科会です。なお、申込が少ないなどの理由で大会テーマ分科会が成立しなかった場合は、大会テーマ分科会に申し込まれた方も自由テーマ分科会に割り振らせていただくことをご承知おきください。また、発表日については、分科会を構成する都合上、希望はお受けできませんのでご了承ください。

現時点で学会に入会手続き中のために申込用ハガキをお持ちでない方は、官製ハガキまたは電子メールで、下記「大会に関する問い合わせ先」まで申し込んでください。記載事項は、①申込者氏名・所属（院生・学生の場合はその旨を明記）、共同発表者及び口頭発表者氏名、②研究発表の題目（「大会テーマ分科会」での報告を希望する場合は明記）、③自宅住所・電話番号・FAX番号、④所属先住所・電話番号・FAX番号、⑤連絡先電子メールアドレスとします。

いずれも8月7日(月)必着とします。

(3) 発表要旨の執筆要領

- ① A4(縦)サイズ、横書きで2枚以内。
- ② 余白は上下25mm、左右19-20mmとし、文字数は横23字×縦45字、2段組、段間9-10mm、2,070字/頁。文字は10ポイント、明朝体。見出しはゴシック。
- ③ 1頁目の上部7行分は1段組とし、タイトル、所属、氏名に使用。2行目にタイトル(14ポイント、ゴシック、中央揃え)、6行目に所属・氏名(10ポイント、ゴシック、右揃え)、本文は8行目から2段組で。年報掲載論文と同じスタイルです。
- ④ そのまま印刷原稿としますので、図表は見やすく貼り付けてください。図のタイトルは図の下部に、表のタイトルは表の上部に、それぞれゴシック、中央揃え、モノクロ印刷で。
- ⑤ 要旨の提出期限は8月31日(木)必着で、送り先は下記の「発表要旨送付先」まで。なお、提出はメール添付によるデータファイルのみ受け付けます。ファイル形式は、PDF形式にくわえて、万が一修正が必要になった場合に備えてMicrosoft Word形式のファイルを提出して下さい(どうしても紙媒体での提出が必要な場合はご相談下さい)。問い合わせがある場合は下記の「大会に関する問い合わせ先」までお願いします。
- ⑥ テンプレートを日本都市学会HPに掲載する予定です。ご利用下さい。

(4) メール送信後の受信確認

電子メールで研究発表の申込や発表要旨の提出をした場合、担当者から受信確認のメールを送りますので、必ずご確認ください。3日以上経っても受信確認メールが届かない場合は、送信先にお問い合わせください。

5. 出欠確認葉書

研究発表をしない方も、同封のハガキに出席の可否(予定)を記載して返送してください。ハガキと同じ内容をメールで下記「大会に関する問い合わせ先」までお送りいただいても結構です。ただし、メールでお送りいただく際は必ずメールタイトルを「日本都市学会石巻大会出欠連絡」として下さい。

6. 発表要旨送付先

tabuchi@fukushima-nct.ac.jp

※ 件名を「石巻大会要旨(氏名)」として下さい。

7. 大会に関する問い合わせ先

〒970-8034 福島県いわき市平上荒川字長尾 30 福島工業高等専門学校ビジネスコミュニケーション学科 田渕義英研究室内 東北都市学会事務局

TEL: 0246-46-0857、メール: tabuchi@fukushima-nct.ac.jp

※ 問い合わせは出来るだけメールでお願いいたします。

8. 宿泊案内

石巻市内には宿泊施設が大変限られておりますので、宿泊施設については各自で早急に予約していただくことをお勧めします。

9. 会場までのアクセス

(1) 最寄駅までのアクセス

大会会場の最寄駅は仙石線石巻駅になります。最寄駅までのアクセスは、以下の経路を参考にしてください。

電車

- ・ 仙台駅—（仙石線）—石巻駅

高速バス

- ・ 東京駅—（JRバス）—仙台駅—（ミヤコー石巻バス）—石巻駅

自家用車

- ・ 東京—（東北道）—仙台南 I.C—（仙台南部道・三陸道）—石巻河南 I.C—石巻市
- ・ 青森—（東北道）—古川 I.C—（国道 108 号）—石巻市

飛行機

- ・ 仙台空港—（仙台空港アクセス線）—仙台駅—（仙石線）—石巻駅
- ・ 仙台空港—（仙台南部道・三陸道）—石巻河南 I.C—石巻市

(2) 最寄駅から会場までのアクセス

石巻駅から会場の石巻魚市場までは、タクシー、もしくは日本都市学会専用の送迎バス（利用料 500 円を予定）をご利用下さい。送迎バスは便数に限りがございます。送迎バスをご利用になる場合はお乗り遅れのないようご注意ください。なお、下記の運行スケジュールは予定です。正確な運行情報は 9 月発送予定のプログラムに掲載しますので、バスをご利用予定の方は必ずプログラムをご確認ください。

○運行スケジュール表（検討中）

10月28日（土）

石巻発 8：00、8：30、13：00、13：30

魚市場発 18：00、18：30、20：30、21：00

10月29日（日）

石巻発 8：00、8：30

魚市場発 12：00、12：30

※上記は予定です。正確な運行情報は9月発送予定のプログラムに掲載します。



日本都市学会・2017年度石巻大会開催趣旨文

都市の復興モデルを探る

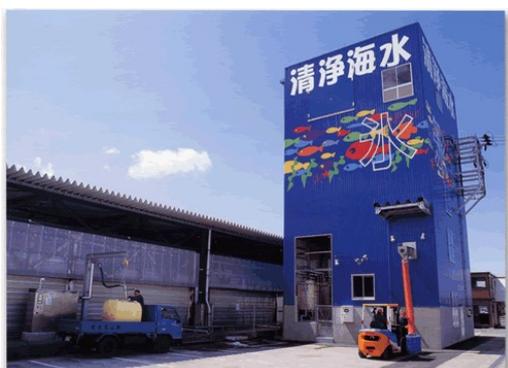
日本都市学会会長 堂前亮平
東北都市学会前会長 増田 聡
東北都市学会会長 松村 茂

2011年3月11日に発生した東北地方太平洋沖地震は、マグニチュード9の激震と多数の余震、直後の津波、さらには原子力災害を引き起こし、東北地方の太平洋沿岸地域を中心に未曾有の大被害、つまり、東日本大震災をもたらした。中でも石巻市は、中心市街地から半島部まで高さ7~8m近い津波が押し寄せ、中心市街地の約半数、市域平野部の約3割が浸水して市内住家の8割弱が被災し、死者・行方不明者が3,500人を越えるという多くの犠牲と被害を被った。被災前の石巻市は、周辺自治体との合併を経て人口は16万人を越え、仙台市以北の被災地では最大規模の都市集積を持つ全国でも有数の水産都市であった。他方、半島部には旧町（桃生・河南・河北・北上・雄勝・牡鹿町）の中心地と多くの漁村集落が点在していた。

発災後の緊急対応として道路啓開やがれき処理、避難所の開設・運営や応急仮設住宅の建設と被災者の生活支援を進める一方で、「最大の被災都市から世界の復興モデル都市を目指して」石巻市震災復興基本計画（2011.12）は策定された。市内各所で様々な復旧・復興事業が展開される中で、防潮堤建設・仙石線再整備等のインフラ復旧・復興、防災集団移転事業や区画整理事業等の市街地整備、復興公営住宅や公共施設の建設や再開発事業等を巡っては、土木・建築・都市計画の領域で、様々な試行錯誤を伴う実践が進められている。また、水産業・水産加工業、製紙業・造船業、流通業、建設業・運輸業等の産業再生においても、二重ローン対策・グループ補助金・仮設店舗提供等が行われ、その政策効果や企業経営の実態に関する経済学・経営学的関心が高まっている。さらに、人口移動や企業立地・撤退、病院・福祉施設・学校を含む生活関連サービスの提供と施設再編の地理学的研究や、被災コミュニティの社会学・心理学的研究も進みつつある。

日本都市学会構成員には、これまでの調査研究や政策提言、地域支援・アウトリーチ活動の成果を踏まえて、東日本大震災の被災地研究や復興支援を開始したメンバーも多く、発災後半年での第58回全国大会は「震災と持続可能な都市づくり」をテーマに福島市で開催された。また、特に被災地に近く日常的なかかわりも深い東北都市学会員の多くは、現在でも現地調査や復興支援を継続しており、2012年度地域大会は、震災直後から多くのボランティア団体が集結し、様々な復旧・復興支援活動の拠点となった石巻専修大学を会場に開催した。このような活動の展開や組織化は、後に「石巻モデル」とも呼ばれたが、2012年度大会では、その活動内容、今後の課題などについて、エクスカージョンや公開シンポジウム「復興とボランティア活動」を通じて議論を進めた。

2017年度の日本都市学会第64回大会は、東日本大震災の津波で全壊したものの2015年9月に再建・運用開始となった石巻魚市場を会場に、水産業再生のシンボルともいえる場に身を置きながら、さらには市内各所で復興実態を確認しながら、より多面的・複合的視点から震災復興の諸課題を検証・検討する機会としたい。検討に当たっては、国・県・市の政府間関係や住民意識の変容下での政策選択、個人・法人間の復興格差、復興政策の実施と意図せざる帰結等についても議論できればと思う。また、東北都市学会における唯一の支部として長年活動してきた石巻支部は、数ヶ月毎に支部会を現地開催し、市内外の産官学民セクターからの参加者を得て様々な情報・意見交換を図ってきた。東日本大震災後は、地域産業の再生やインフラ復旧、都市再生、被災者の生活再建なども、支部会でしばしば論じられてきた話題である。このような支部活動を基礎に、大会運営の企画・立案・実行は進められており、地域での学会活動のモデルとも言えよう。



<今後のスケジュール>

- 7月上旬 開催案内発送・参加申込葉書発送（日本都市学会事務局に委託）
- 8月7日 発表申込〆切
- 8月31日 発表要旨〆切
- 9月〇日 第二回理事会にてプログラム案審議
- 9月下旬 プログラム発送
- 10月中旬 要旨集納品
- 10月27日～ 大会開催

<申込葉書案>

日本都市学会第64回大会(10/27～29)参加申込書

出席しない場合も8月7日(必着)で返送してください(メール可)。

氏名	
住所 (連絡先)	
電話番号	
メールアドレス	
所属支部	1.北海道 2.東北 3.関東 4.中部 5.近畿 6.中四国 7.九州 8.その他
27(金) エクスカージョン	1.出席 → 2.欠席 (エクスカージョン出席の場合) ↓ グループ1 グループ2 グループ3
28(土) 魚市場見学	1.出席 2.欠席
28(土) 研究発表I	1.出席 2.欠席
28(土) シンポジウム	1.出席 2.欠席
28(土) 懇親会	1.出席 2.欠席
29(日) 研究発表II	1.出席 2.欠席
弁当	28日(土) → 1.必要 2.不要

研究発表	1. 発表する ※以下、発表者のみ記入 2. 発表しない ※発表者全員の氏名、および所属(口頭発表者に赤丸)
研究発表の 表 題	
分科会の希望	1. 大会テーマ分科会 2. 自由テーマ分科会 3. どちらでもよい
発表分野の キーワード	(複数可)